

令和8年度

中央区民カレッジ
連携講座

中央区総合環境講座

海と地球を支える 私たちの生活

全9回

令和8年度のテーマ『海洋汚染はじめ地球と地域の環境課題を考える』

海洋汚染と汚染の原因であるゴミの廃棄をひとつの論題に置き、また広く環境破壊を進める生活と社会の行動について学び、区民の立場から行動に向けたきっかけを考えます。

講座各回の詳細は、裏面をご覧ください。>>

講座例

南極の海と氷から探る地球環境の変化



コンポストで
暮らしの中に循環を生み出そう



地球温暖化での空と海、そして人
—地球を冷やすには—



環境配慮型施設見学



令和8年度 中央区総合環境講座

日時 6月17日(水)～12月5日(土) 全9回
場所 環境情報センター「エコノバ」他

対象 18歳以上の区内在住・在勤・在学者(全9回の講座に出来るだけ参加いただける方) 定員 30人 参加費 無料

受付期間 5月15日(金)～6月7日(日) 申込方法 電話・窓口・環境情報センター「エコノバ」のHPいずれかでお申込みください。





<p>第1回</p> <p>6月17日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>脱炭素社会にどう転換するか? ～海外と国内の事例で考える～</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>地球的環境問題が顕在化し、国際社会が一致して闘い抜こうと決意したのが1992年。日本はこの頃以降、経済は発展せず、個人の所得も増えない。国民の徹底議論に支えられ経済社会の構造改革を決断し、断固として実行してこなかったわけではないだろうか。</p> <p>講師/柳下正治氏 一般社団法人 環境政策対話研究所代表理事</p>	
<p>第2回</p> <p>7月15日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>南極の海と氷から探る地球環境の変化</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>白く凍った海が広がる南極。遠く離れた南極海でも、水や氷の性質が地球を巡る海の流れを生み出しています。地球環境の実態とその変化の仕組みを知るためには、南極の現場でも観測が欠かせません。観測を通じた研究の重要性と面白さを、環境に配慮した南極観測隊の生活も交えて紹介します。</p> <p>講師/牛尾収輝氏 国立極地研究所 南極観測センター 教授</p>	
<p>第3回</p> <p>8月19日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>なぜ金継ぎが世界から再注目されるのか ～器を「直す」選択と持続可能な社会～</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>割れてしまった器を漆と金でつなぎ、新たな価値を見出す「金継ぎ」。本講座では、技法や背景にある考え方を通して、ものを大切に使い続ける意味や、私たちの暮らしと環境との関わりについて考えます。</p> <p>講師/保野由季氏 株式会社つづく代表取締役</p>	
<p>第4回</p> <p>9月2日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>コンポストで暮らしの中に循環を生み出そう</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>燃えるゴミの4割を占める生ごみは、コンポストを使えば自分で土に還して、元気な植物を育てることができます。そして、そのアクションはゴミを減らすだけでなく、土壌劣化や気候変動、食料安全保障など、多くの社会課題の解決にもつながります。想像以上に簡単にできて、家事も楽になるコンポストの魅力をお伝えします。</p> <p>講師/西川美和子氏 NPO法人コンポスト東京副代表理事/コンポストフレンズ店主/キエーロオフィシャル認定アドバイザー</p>	
<p>第5回</p> <p>9月16日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>地球温暖化×天気の不調不良 ～変わり始めた「当たり前」～</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>地球温暖化で気象災害が激甚化しています。災害から避難する時に忘れてほしくない大切な事とともに、台風の新たな一面もお伝えします。また「なぜか体調が悪い」という時、ありませんか? それ、天気が原因かもしれません。極端な気象現象が増えた今、体と天気の関係を保険士の視点でお伝えします。</p> <p>講師/山田真実氏 気象予報士・防災士、気象防災アドバイザー、日本生気象学会 気象病・天気痛委員</p>	
<p>第6回</p> <p>10月7日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>日本のエネルギーの「これまで」と「これから」2026</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>今の日本社会の営みを支えているのは、電気、ガス、石油などのさまざまなエネルギーです。エネルギー・セキュリティの重要性が高まる昨今、どのようにしてエネルギーの「今」に至ったのかをあらためて確認し、そして、「これから」は何を目指すのか、皆と一緒に考えましょう。</p> <p>講師/木村浩氏 木村学習コンサルタンツ 代表</p>	
<p>第7回</p> <p>10月21日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>地球温暖化での空と海、そして人 ー地球を冷やすにはー</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>海の上の空に微粒子が増えると、雲ができやすく、白い雲が太陽の光をさえぎります。こんな粒子は人間も出していますが、海の生き物からも作られます。海一面に植物を育てれば、二酸化炭素も減り、地球も涼しくなるかもしれません。</p> <p>講師/植松光夫氏 埼玉県環境科学国際センター・総長、東京大学名誉教授</p>	
<p>第8回</p> <p>11月18日(水)</p> <p>18時30分～20時30分</p> 	<p>まちと若者の“やる気スイッチ”2026 ー社会変容の研究と実践から、エコアクションへのヒントを探るー</p> <p>場所 環境情報センター研修室</p> <p>若者が「ちょっとやってみようかな」と思えるきっかけは、どこにあるのでしょうか。本講座では、社会変容に関する研究と、まちづくり・環境活動の現場での実践を往還しながら、仲間を巻き込み、自発的なエコアクションを生み出す仕組みをひもときます。無理なく楽しく、社会を変えようという一歩を考える時間です。</p> <p>講師/横尾俊成氏 Co-Innovation University 准教授、株式会社まちのプロデューサーズ 代表取締役</p>	
<p>第9回</p> <p>12月5日(土)</p> <p>14時～16時</p> 	<p>環境配慮型施設見学</p> <p>場所 東京スクエアガーデン</p> <p>太陽光発電や地中熱利用など、様々な技術を取り入れた環境に配慮したビルである東京スクエアガーデンの見学を通して、企業の環境への取り組みについて学びます。</p> <p>講師/岩本純氏 東京建物株式会社</p>	

- 申込多数の場合は抽選となり、抽選結果は6月8日(月)以降にご連絡いたします。
- 当講座は中央区民カレッジ連携講座です。受講すると単位が取得できます。●当講座を6回以上出席された方には、中央区から修了証が授与されます。
- お問い合わせ…中央区立環境情報センター「エコノバ」 <https://chuo-eco-noba.jp/> TEL/03-6225-2433

